

手をつなごう

平成19年2月19日
岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 31

第2回特別支援ネットワーク合同会議開催！ 2月14日 於：ゆめトピア長船

今年度のまとめとなるネットワーク会議を「備前・和気」「赤磐地区」「瀬戸内市」の各地域合同で開催しました。年度末のお忙しい時期にもかかわらず、54名ものご参加をいただきました。

前半は全体でケース会について、事例を報告したり、もち方についての共通理解をしたりしました。

後半は各地域に分かれて、地域ごとの課題を話し合ったり情報交換をしたりしました。



備前・和気

○他にも虐待、生徒指導などのネットワーク、自立支援協議会などいろいろあり、同じメンバーが...という声もあるが、少しずつ目的が違い、むしろそれによって地域の問題点がはっきりして整理されてくるというメリットもある。

○顔を見ながらつながっていることが大切。

○新しく備前市になった地域の方にも代表として出ていただく必要があるのでは？

赤磐地区

○ネットワークの中で困っていること、これからそれぞれの機関でしようとしていることの情報交換ができればいい。

○ネットワークの中で個別に向き合うことと市全体として考えていかなければならないこと、両方とも大切にしていける必要がある。

○日常の様々な話の中でネットワークがもっと活用できるのでは？とりあえずコーディネーターに連絡してケース会をすることになることもあれば、窓口を紹介することもある。顔の見えるつながりで、安心してつないでいける。



瀬戸内市

○瀬戸内市では自立支援協議会をこれから立ち上げなければならない。このネットワークを活用したいが、重点の置き所が少し違うのかもしれない。

○事例を聞いて、ネットワークによってあれだけの体制で支援に当たられてよかったと感じた。しかし、このネットワークの存在を知らない人も多いのではないかな。パンフレットを配るなどして周知を図っていく必要がある。

○地域の相談員にもネットワークに入ってもらったらどうか？

各地域とも、来年度に向けて、活発な話し合いが行われました。ネットワークがより有効に活用できるようにという、各関係機関の熱意が感じられました。来年度も顔の見えるつながりを大切にしていきたいと思っています。

